



埼玉県立浦和西高等学校  
Urawanishi High School

発行日 平成30年2月23日  
学校通信 ～西高は今～  
発行責任者 校長 高野 能弘  
HP <http://www.urawanishi-h.spec.ed.jp>

早いもので2月も下旬、日の出日の入りが伸び、日差しに春の訪れを感じる今日この頃です。いよいよ西高も今年度の集大成を迎えます。

### 知的好奇心、そして自尊感情

校長 高野 能弘

平成30(2018)年度は日本の教育が大きく変わる転換点です。学習指導要領の改訂、そして高等学校においては高大接続改革が行われ、高等学校教育、大学改革、そして大学入試制度改革が三位一体の改革として行われます。

我々は時代認識を正確に行い、「自主自立」の精神のもと時代を生きていくことが重要になると私は考えています。現在、そして未来はどのような時代であるのかを理解し、そのなかでどのように複数の正解のなかから自らの解(どのように生きていくか)を問いながら生きていくのです。人生は意思決定・行動選択の連続です。あなたの人生はあなたにしか生きられないのです。自らの主(あるじ)となり、自らで人生を切り開く(立つ)ことです。まさに西高が脈々と求め続けてきた自主自立の精神です。

高齢化社会を迎え、我々は80年以上この社会で生活していきます。社会は時代と共に急速に変化をしていきます。大学を卒業してさらに60年以上その中で生きていくのです。そのためには、変化にしなやかに対応していくことが求められます。つまり学び続ける力をもって人生を送り続けることが必要となります。

今、学びは主体的・対話的で深い学びが求められています。西高では、「確かで高度な学力」「信頼される人間力」「健やかでたくましい心身」を標榜し教育活動が行われています。やっと時代が西高に追いついてきたのです。学びにおいて大切にしていきたいのは未知のことに対して幅広く探求する意志・意欲、つまり知的好奇心が原点です。これからの社会は文系・理系の枠組み(パラダイム)ではなくくりきれない時代です。だからこそ自らで学びの幅を狭めない。つまり西高での生活、学びすべてを大切に。この姿勢こそが生徒の皆さんの理想の姿

です。理想は追い求めなければ実現しません。教科の学習も学校の授業で行われるものはすべてが重要です。安易に自らでそれを狭めることは自らの可能性を狭めることにつながっていると私は考えます。自らの学びを自らでシャットダウンしない。これは自らの能力を信じる自尊感情、つまり誇り、プライドです。眼前の打算で知的好奇心を狭めることなく、誇りをもって学んでください。校歌にもあるように「萬巻(まんぐあん)の書(ふみ)ときあかし」、輝かしい未来への航海に乗り出そうではありませんか。「自主自立 輝け 西高生」

※本原稿は「シラバス・西高CAN-DOリスト」原稿の一部を掲載したものです。

### 1 百人一首大会 (2/3)

2月3日(土)午後、恒例の図書委員会主催「百人一首大会」が図書館で行われました。今回は、他校からの参加者(大宮東、伊奈学園、与野、蕨、海城高校)13名を含めて47名の生徒が参加しました。開会式、ルール説明に続き、生徒たちは9テーブルに分かれて、白熱した競技を展開しました。百人一首大会後はおやつタイム&ミニゲームもあり、盛り上がりました。

他校から参加の皆さん、ありがとうございました。



### 2 第15回土曜公開授業 (2/17)

2月17日(土)、本年度最終回となる「第15回土曜公開授業」を実施しました。中学生とその保護者の方々を中心に、25名の皆様が来校され、授

業や生徒の様子をご参観いただきました。本年度は全15回の土曜公開授業を実施し、合計1225名の皆様にご来校いただきました。どうもありがとうございました。

来年度も、土曜公開授業を実施いたします。心より、皆様のご来校をお待ちしております。

### 3 第2回西高づくり懇話会 (2/20)

2月20日(土)、平成29年度における学校関係者評価を行うため、学校評議員・PTA・後援会・同窓会・生徒等の代表が一堂に会して「第2回西高づくり懇話会」が開催されました。

まず、学校自己評価システムシートに基づき、校長・教員から学校の取組の成果等について報告がありました。続いて各委員から報告内容等について質疑応答があり、システムシートの内容について協議が行われました。委員の皆様には、貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。

後日、学校関係者評価を踏まえた「平成29年度学校自己評価シート(最終)」をホームページにも掲載いたします。



### 4 第3回サイエンスアカデミー (2/20)

2月17日(土)、今年度第3回サイエンスアカデミーを行いました。

今回は少し趣向を変えて、「開港と地域の経済史～経営文書からみる世界経済と埼玉地域～」との演題で東京大学教授の谷本雅之先生にご講演いただきました。谷本先生は経済史がご専門ですが、過去の日本経済の変化を資料やデータから裏打ちしていく作業は、サイエンスの研究手法と重なる部分が多分にあります。また、日本の経済の変遷が西洋と異なることが、日本の農業や家族の生活形態と結びつくといった視点でのおはなしや、埼玉県内の養蚕や綿糸にかかわる内容に、参加者は耳を傾けました。質疑応答や講演後の個別の質問も30分近くにわたり、非常に充実したものとなりました。

谷本先生、本当にありがとうございました。



### 5 埼玉県理科教育研究発表会 (2/10)

2月10日(土)に埼玉大学にて開催されました埼玉県理科教育研究発表会で、「恒星のスペクトル型の観測的研究」と「地平高度の違いによる太陽の色の変化と吸収線の深さについて」、それぞれ口頭発表およびポスター発表を行いました。埼玉大学の先生方や大学院の方に非常に参考になるアドバイスを頂きました。今後の研究に活かしていきたいと思っております。ありがとうございました。



**速報 A〇入試・推薦入試合格者数(2月8日現在)**

☆国公立大

埼玉大 5 埼玉県立大 7 岩手大 1

東京海洋大 1 東京農工大 1 筑波大 1

計 16名